

## JOINT 関数

H鋼の継手を返します。

### 書式

JOINT(ボルト強度区分,H鋼材、接手部位番号)

ボルト強度区分	8T、10T、14Tの3種類です。
材料強度	400、490、520の3種類です。
H鋼材	以下の書式で指定します。 H-200x100x5.5x8 SH-600x200x12x25 HY-600x200x12x25
継手部位番号	1～28

### 解説

- ・ 10Tの鋼材は一貫計算ソフト(ユニオンシステムSS7)のデータに基づきます。
- ・ ボルト径の指定は出来ません。
- ・ ボルト径は10TのH鋼を基準としています。
- ・ 一般H鋼の場合、成300以下、フランジ幅が150以下をM16、フランジ幅が200を超える場合M22、その他をM20としています。
- ・ 外法一定の場合はフランジ幅200以下をM20、その他をM22としています。
- ・ 10Tの外法一定はJFEのデータに基づく為、鋼材先頭の記号は「SH」として下さい。  
例)SH-600x200x12x25
- ・ 材料強度520はJFEのデータに基づく為、鋼材先頭の記号は「SH」として下さい。  
例)SH-600x200x12x25
- ・ 8T及び14Tの鋼材は日鉄ボルテンのデータに基づきます。
- ・ 14Tの外法一定は日鉄ボルテンのデータに基づく為、鋼材の先頭の記号「HY」として下さい。  
例)HY-600x200x12x25
- ・ 鋼材の x (半角小文字エックス)は、X(半角大文字エックス)でも×(倍角掛ける)でもOKです。

番号	戻り値
1	フランジボルト本数-径
2	フランジ外側PL厚・サイズ
3	フランジ内側PL厚・サイズ
4	ウェブボルト本数-径
5	ウェブPL厚・サイズ
6	H鋼成
7	H鋼幅
8	H鋼ウェブ厚
9	H鋼フランジ厚
10	フランジボルト径
11	フランジボルト本数nf
12	フランジボルト本数mf
13	フランジ外側PL厚
14	フランジ外側PL幅
15	フランジ外側PL長
16	フランジ内側PL厚
17	フランジ内側PL幅
18	フランジ内側PL長
19	フランジPLへりあきe
20	フランジボルトピッチ
21	ウェブボルト本数mw
22	ウェブボルト本数nw
23	ウェブPL厚
24	ウェブPL幅(横)
25	ウェブPL長(縦)
26	ウェブPLへりあきe
27	ウェブボルトピッチ(縦)
28	ウェブボルトピッチ(横)

## PJOINT 関数

---

H鋼のピン接合継手を返します。

### 書式

PJOINT(H鋼材、接手部位番号)

H鋼材	以下の書式で指定します。 H-200x100x5.5x8 SH-600x200x12x25 HY-600x200x12x25
継手部位番号	1～9

---

### 解説

- ・ 参照した資料はありません。適当に作りました。
- ・ ボルト径の指定は出来ません。
- ・ 一般H鋼の場合、成300以下、フランジ幅が150以下をM16、フランジ幅が200を超える場合M22、その他をM20としています。
- ・ 外法一定の場合はフランジ幅200以下をM20、その他をM22としています。
- ・ 外法一定の場合は鋼材先頭の記号を「SH」としてください。
- ・ 鋼材の x (半角小文字エックス)は、X(半角大文字エックス)でも×(倍角掛ける)でもOKです。

番号	戻り値
1	ウェブPL厚 ボルト本数-径
2	ウェブPL厚
3	ボルト径
4	ウェブボルト本数mw
5	ウェブボルト本数nw
6	H鋼成
7	H鋼幅
8	H鋼ウェブ厚
9	H鋼フランジ厚

### 著作権等

継手アドインはフリーソフトですが著作権は放棄していません。  
継手アドインの使用については特に制限は設けません。  
継手アドインを使用したワークシートを配布する場合は、  
自由に行っていただいて構いません。

### 作者への連絡方法

press@toyos4.com